２０２６年度

教育推進機構
副専攻コース履修案内

≪学部学生用≫
（２０２５年度以降入学者対象）

本コースは，登録日本語教員養成機関及び登録実践研修機関として文部科学大臣の登録を受けており，2025 年度以降入学者については，本コースを修了した場合，養成課程及び実践研修の修了証書が交付されます。

登録日本語教員制度の概要等については，以下の日本語教育機関認定法ポータルサイトをご参照ください。

https://www.nihongokyouiku.mext.go.jp/top

岡山大学教育推進機構

目次

1　履修申請等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

2　カリキュラムについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

3　修了要件について

　　２０２５・２０２６年度入学者に適用　・・・・・・・・・・・・　7

4　２０２６年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割　・・・・・　8

Ⅰ　履修申請等について

１　開設コース

教育推進機構では，副専攻コースとして「日本語教育コース」を開設しています。

岡山大学教育推進機構副専攻コース（日本語教育コース）（以下「本コース」という。）は，日本語及び日本語教育に関する知識と実践能力を獲得し，日本語学習を必要とする人への教育に従事できる人材の育成を目指しています。本コースは 2024 年４月１日施行の「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律（令和５年法律第４１号）」が定める「登録日本語教員養成機関」及び「登録実践研修機関」として文部科学大臣の確認を受けており，「日本語教育実習」の科目が実践研修に該当します。

本コースの履修者には，日本語教育をめぐるさまざまな事象に対する問題意識を持ち，その解決に向けて知識や情報を論理的に関連付けて自らの考察や分析を深めていく主体的な取り組みが求められます。

※登録日本語教員制度の概要等については，以下の日本語教育機関認定法ポータルサイトをご参照ください。
https://www.nihongokyouiku.mext.go.jp/top

日本語教育コースの詳細については，５ページ以降をご参照ください。

２　履修対象者および受入人員

履修対象者は，次の学部の学生で，所属学部の長が認めた者（ただし，日本語を母語としない者の場合は，日本語能力試験Ｎ１の資格を有する者）とします。各学部の判定方法は，４ページ「各学部履修対象者判定方法」のとおりです。

① 文学部　② 教育学部　③ グローバル・ディスカバリー・プログラム

なお，次の学部の学生は，所属学部のカリキュラムとの関係から，副専攻コースを履修することはできません。

① 法学部　② 経済学部　③ 理学部　④ 医学部　⑤ 歯学部　⑥ 薬学部
⑦ 工学部　⑧ 農学部

受入人員：学部学生と科目等履修生を合わせて計１０人
※定員を超えた場合、申請年度第３学期までの全学ＧＰＡ上位１０人に履修を許可することとします。

３　履修の申請方法

副専攻コースの履修を希望する場合は，次の表に示す時期に，所定の「副専攻コース履修申請書」（所属学部教務担当で受け取ってください。）により，所属学部の教務担当で申請手続を行ってください。

なお，日本語を母語としない者の場合は，申請にあたり，日本語能力試験Ｎ１の合格証明書の提出が必要です。

入　学　時　期	申　請　時　期	提　出　先
４月入学	申請の時期は，１年次の次の期間です。 **２０２６年４月入学者**の申請期間 《２０２６年１１月１６日（月）～１１月２７日（金）まで》	所属学部の教務担当
１０月入学	**２０２６年１０月入学者**は，２０２７年度の申請となります。 具体的な申請時期は，２０２７年度の履修案内で確認してください。	所属学部の教務担当

注）　申請時期は原則として１年次（１０月入学者は２年次）ですが，所属学部の長が認める場合は，２年次以降にも申請が可能です。この場合の申請期間は，上記と同じです。２０２７年度の申請期間は，来年度の履修案内で確認してください。

4　履修の許可

履修の許可は，教育推進機構が，所属学部の長から本コース履修に係る申請があった者について，審査を行い決定します。
審査結果の通知は，所属学部の教務担当を通じて行います。
通知方法・時期については，教務担当から別途掲示等により指示があります。

5　履修の開始時期

本コースの履修の開始は，原則として２年次の第１学期からですが，**本コースは，教育効果等を勘案して，副専攻コースの履修が許可される前であっても，１年次第１学期などの早い段階から，対象科目の一部を履修することができます。**

早い時期からの履修の可否については，５ページ「2　カリキュラムについて」をご確認ください。

早い時期から履修している場合であっても，１年次（１０月入学者は２年次）の１１月の申請時期に「３　履修の申請方法」による申請手続きが必要です。
なお，本コースの授業科目の履修時期は，７ページ以降の「3　修了要件について」を参照してください。

6　履修方法等

５ページ「2　カリキュラムについて」及び７ページ以降の「3　修了要件について」を参照の上，修了要件を満たすように科目を履修してください。修了要件は，入学年度によって異なります。

履修登録は，本コース対象科目以外の科目と同様，各自で学務情報システムから行ってください。一部，抽選を実施する科目もありますので，注意してください。

２０２６年度日本語教育コース対象科目の講義番号及び開講曜日時限については，８ページ以降の「4　２０２６年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割」に記載しています。授業科目の詳細については，各自でシラバス・時間割等により確認してください。

7　修得単位の取扱い

本コースで修得した授業科目・単位の扱いは，所属学部が編成している教育課程の授業科目の取扱いによります。

所属学部の卒業要件単位となっている科目が，同時に本コースを構成する授業科目に該当する場合は，この科目を卒業要件単位と本コース修了要件単位の双方にカウントします。

8　修了証書の授与

本コースを履修して修了要件を満たした場合は，卒業時に副専攻コース修了証書が授与されます。（修了に当たって，手続等は不要です。）

また，本コースの修了者には，「副専攻コース修了証明書（副専攻コースの全修得科目も記載）」を交付します。

9　その他の留意事項

所属学部の卒業が決定した場合は，本コースの履修が途中であっても卒業となりますので，学部学生として本コースの履修を続けることはできませんが，卒業後，科目等履修生として履修を続けることが可能です。

※科目等履修生は，正規の学生と異なり，大学で開設されている授業科目のうち，必要な授業科目や興味関心のある授業科目だけを選んで履修する制度です。

●各学部履修対象者判定方法（１年次の申請　注：10月入学者は２年次の申請）

学部（等）	判定方法
文学部	１年次第３学期終了時までに２２単位以上を修得した者。
教育学部	１年次第３学期終了時までに３０単位以上修得（評語が「修了」及び「認定」の単位を含む。）し，GPAが２．７以上であること。
グローバル・ディスカバリー・プログラム	４月入学者は１年次第３学期終了時までに２３単位以上，１０月入学者は２年次第３学期終了時までに３８単位以上修得し，修得した科目の平均点が８０点以上である者で，日本語による講義を受講するための日本語能力を有する者。（日本語能力試験等の成績の提出を課すことがあります。）

※２年次以降の申請にあたっては，各学部にお問い合わせください。

2 カリキュラムについて

コース修了要件単位を満たす上で履修する必要のある科目は，下記の２種類に分かれます。

履修登録は，他の科目と同様，自身で学務情報システムから行ってください。（抽選対象科目となっている場合がありますので，その場合は忘れずに抽選登録期間中に希望登録を行ってください。）

必修科目	日本語教育についての専門的な知識獲得及び技能養成のための科目です。 指定された全ての単位を修得する必要があります。 特定の科目を履修済みでないと履修できない科目がありますので，注意してください。 本コースの履修が許可された学生のみ，履修登録が可能な科目と，本コースの履修が許可される前からでも履修が可能な科目があります。 ※「日本語教育実習」の科目が,「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律（令和５年法律第４１号)」が定める実践研修に該当します。
選択科目	日本語教育について幅広い知識を得るための科目です。 「登録日本語教員実践研修・養成課程コアカリキュラム」で示された養成課程の「必須の教育内容」４９項目の関連科目から１２単位を修得する必要があります。 ２０２６年度の指定科目は，８ページ以降をご確認ください。履修の順番に指定はありません。 本コースの履修が許可される前からでも履修が可能です。

☆履修モデルの例（２年次からコース履修を開始する学生を例としています。）

開講科目及び開講学期については予定ですので，変更となる場合があります。

<table>
<tr><th rowspan="2">年次</th><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">手続等</th><th colspan="2">履修科目</th></tr>
<tr><th>必修科目
（合計 14 単位）</th><th>選択科目
（合計 12 単位）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1 年次</td><td>第 1～2 学期</td><td></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="11">指定科目から合計 12 単位
（コース履修開始前からでも，対象科目の履修は可能です）</td></tr>
<tr><td>第 3 学期</td><td>コース履修申請
（所属学部宛）</td></tr>
<tr><td>第 4 学期</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">2 年次</td><td>第 1 学期</td><td>コース履修開始</td><td>日本語学概論 1
★日本語教授法概論
★日本語教育学概論</td></tr>
<tr><td>第 2 学期</td><td></td><td>日本語学概論 2
★第二言語習得論
★言語と社会</td></tr>
<tr><td>第 3 学期</td><td></td><td>日本語教材研究 1
★異文化の中の心理と支援
★言語学概論</td></tr>
<tr><td>第 4 学期</td><td></td><td>日本語教材研究 2</td></tr>
<tr><td rowspan="4">3 年次</td><td>第 1 学期</td><td></td><td colspan="2">日本語指導法 1</td></tr>
<tr><td>第 2 学期</td><td></td><td colspan="2">日本語指導法 2</td></tr>
<tr><td>第 3 学期</td><td></td><td rowspan="2">日本語教育実習
（第 3･4 学期またがりで履修）</td><td></td></tr>
<tr><td>第 4 学期</td><td></td><td>日本語教育演習</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4 年次</td><td>第 1～4 学期</td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>3 月末</td><td>コース修了
（コース修了は，所属学部の卒業と同時となります。）</td><td></td><td></td></tr>
</table>

注）★マークの科目は，日本語教育コースの履修が許可される前でも履修可能です。
3 年次以降でコース履修を開始する場合は、表中の 2 年次の必修科目から履修する必要があります。

3　修了要件について

入学年度によって修了要件が異なりますので，該当する入学年度の表をご参照ください。

各科目の開講曜日時限は，８ページ以降の「4　２０２６年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割」をご参照ください。

日本語教育コース　（２０２５・２０２６年度入学者に適用）

科目区分	授　業　科　目	単位	修了要件単位数	履修年次	２０２６年度開講学期
必修科目	日本語教材研究Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	２年次	第３学期
	日本語教材研究２	Ⅰ	Ⅰ	２年次	第４学期
	日本語学概論Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	２年次	第Ⅰ学期
	日本語学概論２	Ⅰ	Ⅰ	２年次	第２学期
	日本語指導法Ⅰ　※Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	３年次	第Ⅰ学期
	日本語指導法２　※Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	３年次	第２学期
	日本語教育実習　※２　※３	Ⅰ	Ⅰ	３年次	２０２６年度開講なし
	日本語教育演習　※２　※３	Ⅰ	Ⅰ	３年次	第４学期
	日本語教授法概論	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ～４年次	第Ⅰ学期
	言語と社会	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ～４年次	第２学期
	日本語教育学概論	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ～４年次	第Ⅰ学期
	第二言語習得論	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ～４年次	第２学期
	異文化の中の心理と支援	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ～４年次	第３学期
	言語学概論	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ～４年次	第３学期
選択科目	「登録日本語教員実践研修・養成課程コアカリキュラム」で示された養成課程の「必須の教育内容」４９項目の関連科目から選択		１２	Ⅰ～４年次	全学期
合　　計			２６		

注）

１．「日本語教材研究Ⅰ」を既に履修した者のみが，表中※Ⅰの科目を履修することができます。

２．「日本語指導法Ⅰ，２」を既に履修した者のみが，表中※２の科目を履修することができます。

３．「日本語教育実習」及び「日本語教育演習」（表中※３）は２単位まで重複履修が可能ですが，コースの修了要件としてはⅠ単位までしか認められません。

４．　必修科目の科目名に「２」がつく科目を履修する時には，同じ科目名に「Ⅰ」がつく科目を既に修得していることが必須です。

4　２０２６年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割

本コースの対象科目は，下記時間割に掲げている授業科目名・期別・曜日・時限のものに限ります。上記時間割に掲げている科目と同一の授業科目名であっても，期別・曜日・時限が異なる科目を履修した場合は，本コースの修了要件単位に算入されません。

各科目の詳細は，シラバス等をご参照ください。

科目によっては，受講要件を定めている場合がありますので，備考欄に記載のない科目についても，予めシラバスを十分にご確認ください。

＜必修科目＞（全て全学共通科目）

授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	備考
日本語教授法概論	1	914604	1	月	1･2	
日本語指導法１	1	914601	1	金	5･6	
日本語教育学概論	1	914610	1	木	3･4	
日本語学概論１	1	914613	1	金	3･4	
第二言語習得論	1	914611	2	月	1･2	
日本語指導法２	1	914603	2	金	5･6	
言語と社会	1	914602	2	木	3･4	
日本語学概論２	1	914614	2	金	3･4	
日本語教育実習【ｐ.１２注）２参照】	1	（2025年度以降入学者に対しては開講なし）	3･4	水	3･4	コース２年目以降で履修
異文化の中の心理と支援	1	914612	3	月	5･6	
日本語教材研究１	1	914605	3	水	3･4	
言語学概論	1	914615	3	木	3･4	
日本語教育演習【ｐ.１２注）２参照】	1	914609	4	火	5･6	
日本語教材研究２	1	914606	4	水	3･4	

＜選択科目のうち全学共通科目＞

授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	備考
アカデミック・ライティング	1	912293	1	月	3･4	
留学生支援ボランティア実習【p.12注）2参照】	1	912276	1	水	5･6	
※外国語学習アドバイジングの基礎	1	912201	2	火	7･8	受講要件あり（詳細はシラバス参照）
留学生支援ボランティア実習【p.12注）2参照】	1	912277	2	水	5･6	
人間生活と心理学	1	912272	夏季集中			
ドイツ語海外研修（夏季）【p.12注）2参照】	2	913861	夏季集中			
中国語海外研修（夏季）【p.12注）2参照】	1	913863	2026年度開講中止			
韓国語海外研修【p.12注）2参照】	1	913865	春季集中			
語学研修・サマーコース【p.12注）2参照】	1	912052	春季集中			
コミュニティエンゲージメント概論	1	912009	3	月	7･8	
ユニバーサルデザイン	1	912102	3	月	7･8	
留学生支援ボランティア実習【p.12注）2参照】	1	912278	3	水	5･6	
異文化組織で働く	1	912208	3	木	3･4	英語で実施
国際協力とプロジェクト管理	1	912209	4	木	3･4	英語で実施
※外国語学習アドバイジングの基礎	1	912202	4	木	7･8	受講要件あり（詳細はシラバス参照）
留学生支援ボランティア実習【p.12注）2参照】	1	912279	4	水	5･6	
近代日本美術の歴史と世界	1	912105	4	木	5･6	
グローバル社会における日本語教育	1	912213	4	木	7･8	日本語・英語併用で実施
人間関係・コミュニケーションの黄金律を学ぶ	1	912287	4	木	7･8	
フランス語海外研修（春季）【p.12注）2参照】	2	913862	春季集中			
中国語海外研修（春季）【p.12注）2参照】	1	913864	春季集中			
オンライン多言語共修プログラム【p.12注）2参照】	1	913866	春季集中			
語学研修・スプリングコース【p.12注）2参照】	1	912053	春季集中			

＜選択科目のうち専門教育科目＞

重複履修の可否は，所属学部の教務担当にお問い合わせください。

開講学部と異なる学部に所属する学生については，履修の可否や履修方法については各科目のシラバスを，卒業要件上の取り扱いに関する詳細は所属学部の学生便覧を確認してください。

開講学部	授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	授業担当教員
文学部	人文学概説（言語学）	2	016105	3･4	水	3･4	栗林　裕
	人文学概説（言語学）	2	（2026 年度開講なし）	－	－	－	片桐　真澄
	人文学講義（言語学Ⅰ）	2	（2026 年度開講なし）	－	－	－	栗林　裕
	人文学講義（言語学２）	2	016213	1･2	月	5･6	片桐　真澄
	人文学概説（現代日本語学）	2	016106	3･4	火	5･6	三輪　聖
	人文学講義（現代日本語学）	2	016218	3･4	月	3･4	中東　靖恵
	人文学講義（現代日本語学）	2	016222	1･2	月	7･8	堤　良一
	人文学講義（日本語教育学）	2	（2026 年度開講なし）	－	－	－	堤　良一
	実践演習（現代日本語学）	2	016313	1･2	月	3･4	中東　靖恵
	人文学概説（日本語学Ⅰ）	2	017109	3･4	木	7･8	久保薗　愛
	人文学概説（日本語学２）	2	017110	1･2	金	5･6	京　健治
	人文学講義（日本語学）	2	017205	3･4	月	3･4	京　健治
	人文学講義（日本語学）	2	（2026 年度開講なし）	－	－	－	久保薗　愛
	人文学概説（文化人類学 b）	1	（2026 年度開講なし）	－	－	－	－
	異文化体験（文学部）	2	016501	特別	－	－	堤　良一・久保薗　愛
	ことばと異文化	1	019822	1	火	1･2	シミッチ―山下ミラ
教育学部	中等英語科内容構成論Ⅰ（リスニング・スピーキング）	2	02B208	3･4	水	1･2	Scott Gardner
	中等英語科内容論（英語学の応用）	1	02B030	2	木	1･2	阿部　真理子
	中等英語科内容論（英語学の研究）	1	02B028	4	木	7･8	阿部　真理子
	中等英語科指導法基礎Ａ	2	02B202	3･4	金	3･4	小山　尚史
	中等英語科指導法基礎Ｂ	2	02B203	3･4	金	3･4	小山　尚史
	中等英語科指導法ＩＡ	2	02B540	1･2	木	5･6	小山　尚史
	中等英語科指導法ＩＢ	2	02B541	1･2	木	5･6	小山　尚史
	初等英語科指導法Ⅰ	1	02B450	2	月	3･4	小山　尚史
	初等英語科指導法Ⅰ	1	02B451	1	月	3･4	小山　尚史
	初等英語科指導法Ⅱ	1	02B453	4	月	5･6	小山　尚史
	中等英語科内容構成論Ⅰ（文化の多様性と異文化理解）	2	02B207	3･4	火	1･2	山形　悟史

開講学部	授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	授業担当教員
教育学部	中等英語科内容論（異文化理解の基礎）	1	02B545	夏季集中			中西　洋平 山形　悟史
	中等英語科内容論（異文化理解の応用）	1	02B544	2	木	7･8	山形　悟史
	中等英語科内容構成論 Ⅱ（多様な文化の受容と発信）	2	02B898	1･2	水	1･2	山形　悟史
	初等英語科指導法基礎	1	02B141	4	水	3･4	山形　悟史
	初等英語科指導法基礎	1	02B142	3	水	3･4	山形　悟史
	中等英語科指導法ⅡＡ	2	02B542	3･4	月	3･4	小山　尚史
	中等英語科指導法ⅡＢ	2	02B543	3･4	月	3･4	小山　尚史
	中等英語科指導法開発ＩＡ	2	02B892	1･2	木	3･4	小山・竹野
	中等英語科指導法開発ＩＢ	2	02B893	1･2	木	3･4	小山・竹野
	初等国語科指導法基礎	1	02B156	3	水	3･4	浮田　真弓
	初等国語科指導法基礎	1	02B157	4	水	3･4	浮田　真弓
	中等国語科指導法ＩＡ	2	02B592	1･2	火	7･8	浮田　真弓
	中等国語科指導法ＩＢ	2	02B593	1･2	火	7･8	浮田　真弓
	中等国語科指導法ⅡＡ	2	02B594	3･4	火	7･8	浮田　真弓
	中等国語科指導法ⅡＢ	2	02B595	3･4	火	7･8	浮田　真弓
	中等国語科指導法基礎Ａ	2	02B244	3･4	金	3･4	池田　匡史
	中等国語科指導法基礎Ｂ	2	02B245	3･4	金	3･4	池田　匡史
	初等国語科指導法Ⅰ	1	02B476	2	水	3･4	池田　匡史
	初等国語科指導法Ⅰ	1	02B477	1	水	3･4	池田　匡史
	初等国語科指導法Ⅱ	1	02B478	4	月	5･6	池田　匡史
	初等国語科指導法Ⅱ	1	02B479	4	木	5･6	池田　匡史
	中等国語科内容論（国語学概論Ⅰ）	1	02B251	1	月	5･6	又吉　里美
	中等国語科内容論（国語学概論Ⅱ）	1	02B252	2	月	5･6	又吉　里美
	中等国語科内容論（国語学Ⅰ）	1	02B603	3	木	7･8	又吉　里美
	中等国語科内容論（国語学Ⅱ）	1	02B604	4	木	7･8	又吉　里美
	中等国語科内容論（文章表現）	1	02B612	4	火	3･4	又吉　里美
	中等国語科内容論（音声言語）	1	（2026年度開講なし）	－	－	－	又吉　里美
	中等国語科内容論（近現代文学演習Ⅰ）	1	02B923	3	火	5･6	木村　功
	中等国語科内容論（近現代文学演習Ⅱ）	1	02B924	4	火	5･6	木村　功
	中等国語科内容論（漢文学演習Ⅰ）	1	02B921	1	月	3･4	土屋　聡
	中等国語科内容論（漢文学演習Ⅱ）	1	02B922	2	月	3･4	土屋　聡
	中等国語科内容論（古代文学Ⅰ）	1	02B607	1	木	7･8	松田　聡
	中等国語科内容論（古代文学Ⅱ）	1	02B608	2	木	7･8	松田　聡
	中等国語科内容論（国文学概論Ⅰ）	1	02B605	3	火	5･6	松田　聡
	中等国語科内容論（国文学概論Ⅱ）	1	02B606	4	火	5･6	松田　聡

開講学部	授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	授業担当教員
ＧＤＰ	Sociological Imagination	2	131070	1	月･木	7･8	宮川　陽名
	Global Sociology	3	131071	3･4	火	7･8	宮川　陽名
	Korean Diaspora	3	131075	3･4	水	9･10	鄭　幸子
	Topics in Japan and Beyond I	3	132060	1･2	火	7･8	鄭　幸子
	Topics in Japan and Beyond II	3	（2026 年度開講なし）	－	－	－	鄭　幸子

注）

１．　授業の形態については，原則対面授業といたしますが，オンライン方式の授業を行う場合があります。

２．　同一名の全学共通科目は，重複して履修することができません（表中の※印の科目）。また，※印以外の科目でも，既に単位を修得した科目は，重複して履修することができません。

ただし，「留学生支援ボランティア実習」，「ドイツ語海外研修（夏季）」，「中国語海外研修（夏季）」，「韓国語海外研修」，「オンライン多言語共修プログラム」，「語学研修・サマーコース」，「フランス語海外研修（春季）」，「中国語海外研修（春季）」，「語学研修・スプリングコース」は，既に単位を修得していた場合でも，重複して履修することができます。本コースの修了要件単位として，合計で最大２単位まで算入できます。

また，「日本語教育実習」及び「日本語教育演習」は最大２単位まで重複履修が可能ですが，コースの修了要件としては１単位までしか認められません。